

やることリスト⑤

ルールは自分たちの手で

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』(文部科学省:令和5年3月)における「目指す姿」の1つに、「学校の風土の『見える化』を通して、学校を『みんなが安心して学べる』場所にする。」とあります。

その取組の1つに「児童生徒が主体的に参加した校則等の見直しの推進」が挙げられています。

坂出市立加茂小学校の取組

「ルール」で考える力を育てる

1. 目的

安心・安全な学校生活を送るためには、集団生活の場での一定のルールが必要です。そして、児童自身がルールや約束を守ることを通して、よりよい学校をつくっていかうとする意識を育てていくことが大切です。加茂小学校にも、10年近く前から「加茂小スタンダード」と呼ばれるルール(校則)がありました。

しかし近年の社会の変化や価値観の多様化とともに、学校のルールに対する学校側と家庭側の捉え方の違いを感じる場面が増えていました。学校で示されるルールは、児童や保護者にとって分かりやすく、必要性があり、どの児童に対しても公正で合理的でなければなりません。このような視点が欠けた根拠に乏しいルールは、児童や保護者からの不信感を招き、時としてトラブルの要因になる可能性も考えられます。ですから、学校や児童、地域の実態を考慮し、よりよい学校づくりに向けて、ルールや約束等の見直しを検討する必要性がありました。

2. ルールづくりの歩み

まず、学校生活のルールは、「児童の学校生活をよりよく過ごしやすいものにするためのものである」という大前提を教職員全員で確認、共有しました。そして、ルールづくりに児童自らが参加することにより、児童の責任感を育み、将来の社会参画への意識を高めていくと考え、学校のルールづくりを児童と教職員がいっしょになって行うことになりました。

次に生徒指導担当、児童会担当教員と運営委員の児童たちでこれまでのルールの見直しを行いました。見直しの際に「子どもたちが安心して、安全な学校生活を送れるルールかどうか」という基準を設け、この基準に基づいて、1つ1つのルールを確認しました。「これまでのルールは正当なものであるか」、「変える、追加するならどの部分なのか」など教員と児童たちで話し合いを重ねました。そして、出た意見を校長に伝え、教職員側の立場と児童の立場の双方から、ルールについて考えを共有し、議論しました。

例えば、「校内では〇〇さんと呼ぶ」というこれまでのルールは、「授業中は〇〇さん」と呼ぶという記述に変わりました。これは、親しい間柄の友だち関係であれば、休み時間などニックネームで呼んでも問題ないという児童の意見を基に変わった部分です。

2学期始業式に運営委員から、自分たちが考えたルールを「カモ助の一日」という名称で全校生に発表しました。これまでと変わった部分や、どんな思いからこのルールをつくったのかが伝えられ、全校生で守っていかうと周知されました。その後、学級では、担任から「児童が自分たちの学校をよくするルールをつくったことの意義」や、「この基準が不変的なものではなく、これから学校の実態や課題に応じて柔軟に変化、発展していくこと」が伝えられました。

児童が自分たちに関するルールづくりに関わり、自分たちが決めたルールであるという意識が高学年を中心にもつことができるようになった点は、大きな一歩であると感じます。そして、児童自身が校則の

目的や必要性、意義を考える機会を持つことで、なぜそのルールがあるのかを深く理解することにつながり、その結果、「守られている」という受け身の姿勢から、「自分で納得して守る」という主体的な行動へとつながってほしいと考えています。

昨年度までのルール（校則）

加茂小学校スタンダード①		加茂小学校スタンダード②	
生活・遊びのきまり		授業・学習のきまり	
※きまりを守って楽しく生活しましょう。		※きまりを守ってしっかり勉強しましょう。	
項目	内容	項目	内容
登下校	<ul style="list-style-type: none"> ○登校時間は、7:30～7:55とする。(開校7:30) ○黄色い帽子をかぶって登下校する。 ○忘れ物は取りに帰らない。電話しない。 ○決められた通学路を通る。寄り道をしない。 	授業の始め	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の準備をしておき、チャイムで始められるようにする。 ○号令をかけ、あいさつをして始める。
学校の生活	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉づかいはていねいに、「～さん」と呼ぶ。 ○チャイムの合図を守って生活する。 ○廊下は右側を静かに歩く。 ○特別教室や体育館へは、先生といっしょに入る。 ○職員室や保健室への入り方 <ol style="list-style-type: none"> 1 失礼します。 2 ○年○組「氏名」です。 3 ○○のごとく来ました。 4 失礼しました。 ○教室や廊下では静かに過ごす。 <p style="text-align: center;">あいさつ(返事)・安全・後片付けは基本</p>	発言の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ○発表の際には、静かに手を挙げる。 ○指名されたら、「はい」と返事をする。 ○「わたしは、○○だと思います。」と語尾まではっきりと言う。 ○わからない時は、「わかりません」「考え中です」と言う。
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に必要なものは持ってこない。(キーホルダー) ○お守りは靴の中に入れておく。 ○シャープペンや華美、高価な文房具は持ってこない。 	聞き方	<ul style="list-style-type: none"> ○聞くときは、話す相手を見て聞く。(うなづきながら) ○大事なことはメモをとる。
遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○決められている場所で遊ぶ。 ○花だんや駐車場では遊ばない。遊び場所は運動場。 ○ルールやマナーを守って遊ぶ。 ○全校生が集まって遊ぶときは、下級生に配慮する。 	ノートのとり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ていねいな文字で書く。 ○日付、単元名、学習のめあてなどをきちんと書く。 ○大事なことは、色をかえて書く。 ○直線を引く時は、定規を使う。
下校後の遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○行き先、誰と、どこで、いつまで遊ぶかを家の人に伝え、大人のいない家には入らない。 ○複数の友達と、人目のある、明るい場所で遊ぶ。 ○駐車場や道路では遊ばない。3密を避ける。 ○けがをしようとするような危険な遊びはしない。 ○遅くても17:00には家に着くように帰る。 ○自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶるようにする。 	学習用具	<ul style="list-style-type: none"> ○えん筆を使う。(シャープペンは使わない。) ○えん筆は事前に削っておく。 ○準備は前日に ○華美、高価な文房具は、持ってこない。 ○必ず下敷きを使う。 ○持ち物には名前を書く。
		授業の終わり	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムの合図で終わる。 ○号令をかけ、あいさつをして終わる。 ○教科書、ノート等を机の中にする。 ○次の授業の準備をして席を離れる。
		家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いて、集中できる環境をつくる。 ○自分から進んで勉強する。 ※進んでるとは、おうちの人に言われる前にすることです。

2023.04.08 配布

今年度からはじまった児童が作成に参加してできたルール（校則）

カモ助の1日

みんなが気持ちよく
安心・安全に
生活できるように

朝は、7時30分から7時55分までに学校に来ます。
7時40分から50分まで、朝ボランティアの時間だよ。
黄ぼうをかぶって、安全に気をつけて登校します。
気持ちのいいあいさつは基本だよ。

学校では、相手の嫌がる呼び方や言葉づかいはしません。
授業中は、相手を尊重して「○○さん」と呼び、チャイムを守ります。
よい姿勢で。発表は、静かに手をあげ、指名されたら「はい」と返事をします。

話す人を見て、うなずいたりメモしたりして聞くよ。
ノートは、ていねいに工夫して、分かりやすく書くよ。
えんぴつを使い、前の日には時間割を合わせ、えんぴつもけずっておきます。
特別教室、教室移動は先生の指示にしたがいます。
学習のじまになるものや大事なものは持ってきません。
廊下は静かに歩き、運動場で元気に遊びます。
フェンスから校舎側で、鬼ごっこやボール遊びはしないよ。

命を守る行動をします。

下校は、寄り道をせず、通学路を通ります。飛び出しは絶対しません。
遊びに行く時は、「行き先」、「誰と」、「どこで」、「いつまで」遊ぶかを家の人に伝え、大人のいない家には入らないよ。
必ず家に帰ってから遊びに行きます。
お迎えを待つ時は、遊びません。
「遊ぶやくそくは」前日までに、お家の人の許可をもらおうよ。
自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶります。
5時には、家に着くように帰ります。

家庭学習は、落ち着いて集中できる場所で、進んでできるように。目標をたて、自分のためにがんばろうよ。

坂出市立坂出中学校の取組

**学校生活の過ごし方について生徒会を中心にみつめ直し、
よりよい学校を全校生で創りあげよう**

**「生徒創会」の
実施**

1. 目的

坂出中学校の学校生活をよりよくするために、学校生活の過ごし方について生徒会を中心に生徒自らがみつめ直し、全校生でよりよい坂出中学校を創りあげることが目的としました。

また、生徒主体による学校行事の実施は以前から本校の伝統の1つですが、ルールづくりに主体的に参加することで、「自分たちの学校は自分たちで創る」という意識を高め、「明日も通いたい学校づくり」をめざしています。

2. ルールづくりの歩み

【令和6年度】

時期	内 容
1 月	<p>生徒会長から、生徒対象のアンケートの実施について、全校生に周知。</p> <p>○「生徒の声」と称した「よりよい学校づくりのため」にアイデア・意見という内容のアンケートを1、2年生で実施。(アンケート方法はロイロノートで)</p> <p>○生徒会でアンケートを開票。結果をもとに、何について改善していくかを討議。</p>
1 月末 2 月始め	<p>生徒会が決めた議題を管理職に起案の提出。</p> <p>主任会にて、教員の意見を問う。</p>
2 月始め	<p>入学周知会：来年度の新制服や学校生活について生徒指導主事から新入生の保護者に説明。</p>
2 月中旬	<p>臨時評議会①：生徒会から各学級委員に、学級会で話し合う議題についての伝達と、学級会の行い方について周知を行う。</p>
2 月中旬	<p>生徒会長から全校生に議題について周知。</p> <p>学級会①：各学級の学級委員を中心に議題について話し合う。 「坂出中の頭髪に関するきまりについて話し合おう!」</p>
2 月中旬	<p>臨時評議会②：学級会で話し合った内容の報告</p> <p>臨時評議会で決定した内容を職員に伝達</p>
2 月末	<p>生徒会本部役員会：第1回生徒創会の準備</p>
3 月始め	<p>第1回生徒創会</p> <p>①令和7年度の生徒会テーマの発表</p> <p>②話し合ったことについての決定事項の報告</p> <p>③生徒会長から</p> <p>④生徒指導主事から・・・1、2年生に来年度からの制服の着方について</p>



※毎週行われる生徒指導委員会において、新制服の着方や学校のルールの見直しについても話し合いを進めた。

【令和7年度】

時期	内 容
4 月	<p>生徒指導委員会</p> <p>○高校に依頼するアンケート内容の検討</p> <p>○学校のルール（主に頭髪）の改善についての協議</p>
5 月始め	<p>高校への学校のきまりに関するアンケート調査の依頼</p> <p>○生徒会から、高校における校則やきまりについて知りたいという要望を受け、坂出市近辺の高校（5校）に依頼</p>

5月中旬	<p>企画委員会・職員会にて提案</p> <p>○高校へのアンケートの結果より</p> <p>○今後の進め方（学級会、生徒創会）○生徒会役員の考え 等</p>
6月始め	<p>現職教育 校内研究授業「特別活動」</p> <p>○以後行う学級会について、校内研究授業として行い、全教職員で協議した。</p> <p>学習課題「学校のきまりについて話し合おう！」</p> <p>①昨年度の学級会を振り返りや、アンケート結果をもとに、意見交換をする。</p> <p>②今の学校のルールについて話し合う。</p> <p>「なぜ、ルールが明確化されていないのだろうか」</p> <p>③高校からのアンケートの結果をもとに話し合う。</p> <p>「これからどのようなことを全校生で取り組んでいくとよいのか」</p> <p>○校内研究授業をもとに、各学級で学級会②③を行う。</p>
6月中旬	<p>学級会②：「学校のきまりについて話し合おう！」</p> <p>「これからどのようなことを全校生で取り組んでいくとよいのか」</p>
6月中旬	<p>学級会③「学校のルールをどう改善していくか、具体的に考えよう」</p> 
6月末	<p>評議会③：学級会②③で、各学級で話し合ったことをもとに、生徒会役員が学級の意見をまとめて話し合う。</p>
<p>☆頭髪を中心に、改善したいことが意見としてたくさん挙げられたと同時に、まず自分たちが今あるルールを守れているか、ルールを守る集団になってから、今あるルールを見直し、新たなルールをつくるべきだという意見が出た。</p>	
6月末	<p>生徒会本部役員会：第2回生徒創会に向け、生徒会役員で意見をまとめ、管理職に起案後、先生方に周知する。</p>
7月始め	<p>第2回生徒創会</p> <p>①生徒会長から全校生への提案と先生方への依頼。</p>
<p>☆よりよい学校づくりに向けて、今あるルールを守る集団になるための取組を実行委員会で実践していくこと。</p> <p>☆今後、見直して欲しいルールとして、「ツーブロック禁止」ではなく、「奇抜でない髪型」の基準を変えて欲しい。また、水泳の後の「お団子スタイル」や「ハーフアップ」スタイルを可にして欲しい。</p>	
	<p>②教頭より、生徒会長からの依頼を受けて先生方で話し合っ決めてとの報告。</p>
7月始め	<p>職員会：生徒会からの提案に対する意見や感想を、先生方にロイロノートで提出依頼。</p>
7月中旬	<p>臨時評議会④：「きまりを守るための取組について考えよう」</p> <p>①1学期を振り返り、坂中生の課題について話し合う。</p> <p>②2学期に向けて、実行委員会や各学年団の取組について考える。</p>
8月末	<p>職員会：提出された教職員の意見をもとに話し合う。</p>
9月始め	<p>生徒指導委員会：第3回生徒創会に向け、生徒からのその他の質問や要望に対する返答内容についての確認。</p>
9月末	<p>生徒会本部役員会：第3回生徒創会に向けて発表の準備をする。</p>
10月始め	<p>第3回生徒創会</p> <p>①生徒会長から決定事項（髪型の基準について）の報告と全校生への提案</p> <p>②生徒指導主事から、生徒からのその他の質問や要望に対する返答</p>